

# 令和元年度 かごしま青少年海外研修事業報告書

○ 令和元年度事業概要	1
○ 研修日程	2
○ 上海コース	
・ 集団研修	3
・ 個別研修	4
・ 個人研修	6
・ 研修成果・研修成果の今後への反映	9
○ 台北コース	
・ 集団研修	10
・ 個別研修	11
・ 個人研修	13
・ 研修成果・研修成果の今後への反映	15
○ 研修成果（所属企業・団体からの意見）	16



## 事業概要

<b>事業目的</b>	<p>アジア経済圏の主要都市であるソウル, 上海, 香港, 台北に本県の青少年を派遣し, 訪問国の若い企業人等との交流や経済活動の現場体験等を通して, 次代の鹿児島をリードする国際的な人材を育成する。</p>																																												
<b>研修日程</b>	<p>○上海コース          派遣先 : 上海          事前研修 : 令和元年 9月21日(土)          現地研修 : 令和元年10月16日(水) ~ 10月19日(土)</p> <p>○台北コース          派遣先 : 台北          事前研修 : 令和元年10月26日(土)          現地研修 : 令和元年11月25日(月) ~ 11月28日(木)</p> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">※令和元年度は上海コース・台北コースのみ実施</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>○派遣後研修 : 令和2年 2月22日(土)          2コース合同の研修会を実施</p>																																												
<b>参加者</b>	<p>鹿児島県内に居住, 又は鹿児島県に所在する企業等に勤務する者等で, 引き続き鹿児島県内に居住, 又は勤務しようとする概ね18歳以上30歳代前半までの者  <span style="float: right;">合計 47人</span></p> <p>【内訳】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;"><b>上海コース</b></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">団長</td> <td colspan="4">渡 康嘉 氏 (南国警備株式会社)</td> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">団員</td> <td style="text-align: center;">企業推薦</td> <td style="text-align: center;">15人</td> <td style="text-align: center;">男性</td> <td style="text-align: center;">9人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">一般公募</td> <td style="text-align: center;">6人</td> <td style="text-align: center;">女性</td> <td style="text-align: center;">12人</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td style="text-align: center;">21人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;"><b>台北コース</b></td> <td style="text-align: center;">団長</td> <td colspan="4">脇野 真梨江 氏 (株式会社 Climbest)</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">団員</td> <td style="text-align: center;">企業推薦</td> <td style="text-align: center;">21人</td> <td style="text-align: center;">男性</td> <td style="text-align: center;">15人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">一般公募</td> <td style="text-align: center;">5人</td> <td style="text-align: center;">女性</td> <td style="text-align: center;">11人</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td style="text-align: center;">26人</td> </tr> </table>	<b>上海コース</b>	団長	渡 康嘉 氏 (南国警備株式会社)				計	団員	企業推薦	15人	男性	9人	一般公募	6人	女性	12人						21人	<b>台北コース</b>	団長	脇野 真梨江 氏 (株式会社 Climbest)				計	団員	企業推薦	21人	男性	15人	一般公募	5人	女性	11人						26人
<b>上海コース</b>	団長		渡 康嘉 氏 (南国警備株式会社)				計																																						
	団員		企業推薦	15人	男性	9人																																							
			一般公募	6人	女性	12人																																							
						21人																																							
<b>台北コース</b>	団長	脇野 真梨江 氏 (株式会社 Climbest)				計																																							
	団員	企業推薦	21人	男性	15人																																								
		一般公募	5人	女性	11人																																								
							26人																																						

## 研修日程〔3泊4日〕

### 【上海コース】

### 【台北コース】

月日	研修内容等								
10/16 (水)	(移動) 鹿児島空港発 上海浦東国際空港着  <b>集団研修</b>  現地企業人との意見交換								
10/17 (木)	<b>集団研修①</b>  現地の専門家による講義 <b>【講師】</b> 東華大学 張盈盈 (張英英:チョウインイン) 氏  <b>個別研修①</b> 4班に分かれ企業・団体を訪問 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr><td style="width: 10%;">1班</td><td>伝統芸術京劇(上海京劇院)</td></tr> <tr><td>2班</td><td>光明食品</td></tr> <tr><td>3班</td><td>伝統芸術京劇(上海京劇院)</td></tr> <tr><td>4班</td><td>上海孫橋農業園</td></tr> </table>  <b>集団研修②</b>  現地企業人と意見交換	1班	伝統芸術京劇(上海京劇院)	2班	光明食品	3班	伝統芸術京劇(上海京劇院)	4班	上海孫橋農業園
1班	伝統芸術京劇(上海京劇院)								
2班	光明食品								
3班	伝統芸術京劇(上海京劇院)								
4班	上海孫橋農業園								
10/18 (金)	<b>個別研修②</b> 4班に分かれ企業・団体を訪問 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr><td style="width: 10%;">1班</td><td>上海孫橋農業園</td></tr> <tr><td>2班</td><td>伝統芸術京劇(上海京劇院)</td></tr> <tr><td>3班</td><td>上海太太樂株式会社</td></tr> <tr><td>4班</td><td>伝統芸術京劇(上海京劇院)</td></tr> </table>  <b>個人研修</b>  自ら設定したテーマに基づき、 研修を行う。	1班	上海孫橋農業園	2班	伝統芸術京劇(上海京劇院)	3班	上海太太樂株式会社	4班	伝統芸術京劇(上海京劇院)
1班	上海孫橋農業園								
2班	伝統芸術京劇(上海京劇院)								
3班	上海太太樂株式会社								
4班	伝統芸術京劇(上海京劇院)								
10/19 (土)	(移動) 上海浦東国際空港発 鹿児島空港着								

月日	研修内容等										
11/25 (月)	(移動) 鹿児島空港発 台湾桃園国際空港着  <b>集団研修</b>  現地企業人と意見交換										
11/26 (火)	<b>集団研修①</b>  現地の専門家による講義, 見学 <b>【講師】</b> 株式会社熊谷組 スタッフ  <b>個別研修①</b> 5班に分かれ企業・団体を訪問 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr><td style="width: 10%;">1班</td><td>黒丸嫩仙草観光工廠</td></tr> <tr><td>2班</td><td>手信坊創意和菓子文化館</td></tr> <tr><td>3班</td><td>黒丸嫩仙草観光工廠</td></tr> <tr><td>4班</td><td>黒丸嫩仙草観光工廠</td></tr> <tr><td>5班</td><td>手信坊創意和菓子文化館</td></tr> </table>  <b>集団研修②</b>  現地企業人と意見交換	1班	黒丸嫩仙草観光工廠	2班	手信坊創意和菓子文化館	3班	黒丸嫩仙草観光工廠	4班	黒丸嫩仙草観光工廠	5班	手信坊創意和菓子文化館
1班	黒丸嫩仙草観光工廠										
2班	手信坊創意和菓子文化館										
3班	黒丸嫩仙草観光工廠										
4班	黒丸嫩仙草観光工廠										
5班	手信坊創意和菓子文化館										
11/27 (水)	<b>個別研修②</b> 5班に分かれ企業・団体を訪問 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr><td style="width: 10%;">1班</td><td>ATOP 王鼎時間科藝體驗館</td></tr> <tr><td>2班</td><td>郭元益食品メーカー</td></tr> <tr><td>3班</td><td>HIS 台北支店</td></tr> <tr><td>4班</td><td>ATOP 王鼎時間科藝體驗館</td></tr> <tr><td>5班</td><td>黒丸嫩仙草観光工廠</td></tr> </table>  <b>個人研修</b>  自ら設定したテーマに基づき、 研修を行う。	1班	ATOP 王鼎時間科藝體驗館	2班	郭元益食品メーカー	3班	HIS 台北支店	4班	ATOP 王鼎時間科藝體驗館	5班	黒丸嫩仙草観光工廠
1班	ATOP 王鼎時間科藝體驗館										
2班	郭元益食品メーカー										
3班	HIS 台北支店										
4班	ATOP 王鼎時間科藝體驗館										
5班	黒丸嫩仙草観光工廠										
11/28 (木)	(移動) 台湾桃園国際空港発 鹿児島空港着										

### 【集団研修（講義）】

- 1 講師  
東華大学 張盈盈（張英英：チョウインイン） 氏
- 2 講演テーマ  
新中国成立 70 周年から見る中国経済発展の歩み
- 3 概要  
中国の経済発展の概要と中国のインターネットの発展についての講話



- 4 参加者の感想
  - ・他国に負けないよう独自に様々な努力をし、経済をここまで発展させてきたことを感じた。
  - ・通訳の方が同時通訳をしてくださったが、講師が話す内容と通訳が訳した日本語が全く同じなわけではないと気づいた。言語を勉強し、自分の言葉で話すことの意義を知った。
  - ・中国共産党からの指示により経済発展、環境問題の解決を図る一方で、政府の指示に従わない場合に厳しい罰則となっているなど、政府の力強さを実感した。

### 【集団研修（意見交換会）】

- 1 概要  
現地企業人との意見交換、鹿児島をPRするプレゼンテーション

- 2 参加者の感想
  - ・中国と日本の間での政治的な考え方や体制、生活文化の違いに驚いた。相互の国について理解し、考え方を共有することで新しいビジネス発展に繋がれると改めて感じた。
  - ・現地企業の方に中国での食事のマナーや中国の食文化、日本との繋がりを教えていただいた。
  - ・鹿児島についてプレゼンをした後に、現地の方々が鹿児島についてとても興味深く聞いてくださったので、機会があれば是非鹿児島にきてほしいと思った。
  - ・海外の方に鹿児島をPRするには、自分自身が鹿児島のそれぞれの特色をしっかりと経験する必要があると実感した。



## 1 概要

5～6人のグループでの企業視察等

## 2 参加者の感想

## ○ 伝統芸術京劇上海京劇院

- 日本の歌舞伎に似ており、京劇も同じように次の世代に残すように守っていく必要があると感じた。



- 舞台上で1分演じるために、10年の練習が必要という言葉に感銘を受けた。
- 中国の伝統的な文化に初めて触れたが、とても魅力と奥深さがあり印象に残った。日本の伝統文化の良さについても、多くの国の方々に伝えていきたいと思った。

- 中国はSNSを活用した魅せ方がピカイチで、時代の取り込み方がとても上手いと感じた。改めて文化を残していくためには、ターゲットをきちんと見極め、その時代に合った見せ方をしていく必要があるのだと感じた。

- 先生の授業の終盤に、親子らしき2人が現れた。娘さんは先生の生徒だったようで、私たちの見学の後にレッスンがあるということだった。伝統文化を習い事に行っていることと、お父さんが送りに来たことに驚いた。中国では男性が家庭に入るのが一般的なのか気になった。



## ○ 上海太太樂株式有限公司

- 世界各国の調味料を生産することで国内から世界への販売と輸出をし、常に1歩先を進んでいるという自信が伝わってきた。
- 工場視察前は、中国の食品工場は衛生管理が杜撰で、いいイメージを持っていなかったが、工場の視察により食の安心安全を徹底していることを知ることができるとともに、悪い印象を払拭することができた。

## ○ 伝統芸術京劇上海京劇院

上海北京オペラ劇場は、1955年に設立された中国の有名な舞台芸術グループで国の重要な北京オペラ座である。ユニークな芸術スタイルや、美しい文化的景観を作り出しており、上海の才能ある人材が集まる。有名な作品には伝統的で古典的な作品もある。

## ○ 上海太太樂株式有限公司

中国のチキンエッセンス、チキンパウダー等の調味料の製造を行っている。スイスのネスレファミリーの一員であり、世界の食品会社の大手上位3社の1つである。うま味科学の研究と推進に取り組んでおり、うま味業界の技術革新を推進している。



## ○ 光明食品（集団）有限公司

- ・ 自分自身、牛乳は冷蔵するものという認識しかなかったが、中国人は“基本的に冷えているものを口にしない”という文化があり、そういった違いも知ることができた。
- ・ 出荷できずに余った牛乳は粉にして販売したり、使い終わった紙パックを回収し、ノートやペン、ベンチなどに加工したりしているという話を聞き、環境を意識して取り組んでいることを改めて実感した。
- ・ 光明食品では、牛乳の製品を常温で販売しているものがあり、製造から6か月常温で保つとのこと。これは、非常食としても、牛乳は栄養価が高いので日本にあってもよい商品だと感じた。

## ○ 上海孫橋農業園

- ・ 想像以上の広大さに唖然とするばかりであり、企業単位で管理の仕方や研究内容が異なっていたが、日本の同様な農業園と大差ないように感じた。
- ・ これからは人の代わりに機械が仕事をしていくことが増加するのだと感じるとともに、人がしている仕事をここまで軽減できる技術に驚いた。
- ・ ほとんど機械化されていた農園でなぜ、あえて種まきと収穫は人手で行われているのか聞いてみると、機械導入費用と人件費では中国では人件費の方が安いためだということ。人手を使うことは雇用の創出にもつながるため、悪いことばかりではないように思ったのに加え、機械化がメリットだけを生み出すわけではないと再認識した。

### ○光明食品（集団）有限公司

中国最大級の食品産業集団で食料資源から製品加工、流通、リテール（個人への販売）に至る食品バリューチェーンを中国国内で構築している。代表的な商品のひとつである砂糖のほか、乳製品や酒類、缶詰など中国で有力なブランドを多数保有している。

### ○上海孫橋農業園

孫橋現代農業開発区は国家農業科学ならびに技術区のひとつである。工場的農業の先進的企業として、緑色野菜の温室栽培の国家の中での模範となっている。1994年に設立し、1998年まで国が運営した。それ以降は株式会社になった。オランダからの施設、国内産の施設を導入し、果菜類、キノコの他、魚の養殖なども行っている。

## 【個人研修】

## 1 概要

参加者個人が各自で設定したテーマに基づき実施する研修

## 2 研修内容

①

業 種：大学生

テーマ：サポートとは

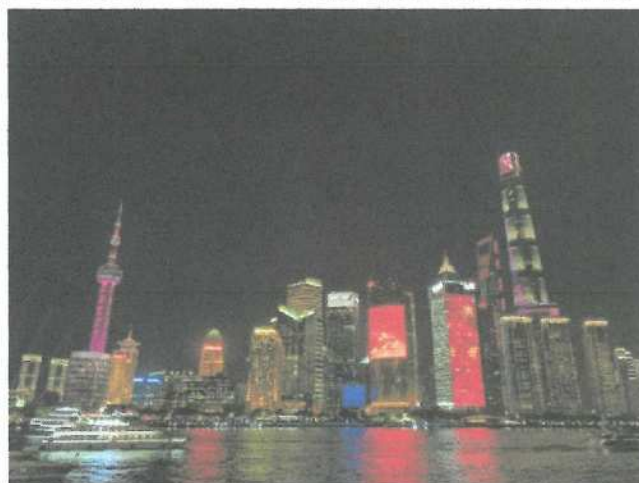
場 所：上海日本領事館，外灘

## 〈参加者の研修レポートから抜粋〉

私の今回の研修での私の大きなテーマは「サポートとはどのようなものかを知る」ことでした。私が台湾へ留学に行き、そこで外国人としてサポートをもらったように、上海で生活している日本人へサポートを行なっている場所で話を聞きたいと考え、在上海日本領事館へ、その後、観光地ではどのようなサポート、対応を受けることができるのか、を知りたいと考え、豫園商城と外灘へ行きました。

在上海日本領事館では日本領事館の仕事を始め、上海の現状や日中での観光客のことなどを教えていただきました。「領事館」は、その国にいる邦人に対してサポートをする場所である、と私は理解していたのですが、実は邦人へのサポートはもちろんですが、その国の人々へ日本とはどのような場所であるのかや留学情報を提供する場所である、ことの役割の方が大きいということを知りました。実際に、領事館にある多目的スペースには、日本の本や漫画を始め、ガイドブックや雑誌、また、留学に関する資料もあり、邦人へ向けてだけの場所ではないのだということを感じました。

豫園商城や外灘では、観光客へ商品を売る時の話し方や値段の付け方に違いがありました。まず、「买四送一」というような表示をよく見かけました。これは「4つの物を買えば、1つあげる」という意味です。おそらく日本であれば20%オフと書かれているのですが、上海では、「オフ」ではなく、「あげる」という表示でした。また、この「买四送一」の商品を買おうとした時、私たちはみんなで合わせても3つ分しか必要なかったため、



3日目 個人研修で訪れた外灘

「5個目のプレゼントはいらないから3つだけでいい」と何度も伝えましたが、お店の人は「4つ買えば1つプレゼントなんだ」ということを強く伝えてきました。中国の方の考え方では、それがお得であり、日本人にとっても魅力的に感じます。しかし、お得なことがわかっている上でそれでも必要ない、と伝えているのに諦めずに、悪く言えばしつこく話しかけてくることは日本人の商品の売り方とは少し違うと思いました。



②

業 種： 静脈産業ビジネス

テーマ： 家庭ごみ・産業廃棄物の取り扱いと住民意識への条例施行の持つ影響力

場 所： 上海市内

## 〈参加者の研修レポートから抜粋〉

令和元年10月16日、私は初めて中国本土の地を踏みました。今までの海外渡航の中でも毎回候補に入れつつも敬遠してきた、近いようで遠い国「中国」というのが私の先入観で、それを拭い去りたいということも一つの動機であった。

今回の個人研修テーマは「家庭ごみ・産業廃棄物の取り扱いと住民意識への、条例施行の持つ影響力」と設定し、2019年7月1日に施行された「上海市生活ごみ管理条例」による変化を探ることを目標とした。残念ながら訪問の日時で折り合いが合わず、浦東にある「中国上海老港再生可能エネルギー利用センター」への見学は叶わなかったが、より日常レベルでの取り組みについてお伺いすることができた。

## 1. 住宅地での分別状況

集合住宅の多いエリアであったせいも、各アパートの脇、エリアの一角には右の画像のような大型の回収ボックスが用意されていた。①乾いたもの（燃えるごみ） ②湿ったもの（生ごみ等）③資源ごみ（缶やペットボトル）④有害ごみ（スプレー、薬品、電池等）の4種類が用意され、住民がまさに入れる場面も見ることができた。

以前（発令後すぐ）は監視員が立ち、指導に当たっていたようである。日本での事前リサーチでは正しい排出を行わない場合「罰金」を科すという表現もあったが、指導を受けながら回収ボックスへ入れることで問題なく運用できると意見をいただいた。また回収ボックスの周りには監視カメラが少なくとも3アングル設置されており、監視体制の下で不法な行為の取り締まりを行っていた。これ以外にも中国の建屋には監視カメラが随所に設置されていたのが印象深い。



③

業 種： 福祉  
テーマ： 中国における福祉と地域の関係について  
－日本との共通点と違いを学ぶ－  
場 所： 上海市内の店舗や観光地，公共交通機関

〈参加者の研修レポートから抜粋〉

3日目の午後からは、個人研修を行いました。私は、商業や工業の中心都市である上海で、障害者や高齢者などがどのように地域で暮らしているのか知りたいと考え、店舗や観光名所を訪問したり、公共交通機関などに実際に乗車したりして、バリアフリー状況や障害者などへの合理的配慮への取り組みを確認していきました。

まず、宿泊したホテルの周辺を散策してみると、大きな道路の歩道には、点字ブロックが整備されており、各店舗にはスロープも見られました。



しかし、大通りから中に入り込んだ市場などが広がる歩道には点字ブロックやスロープは見られず、歩きづらく感じました。また、歩道には自転車置き場が並び、点字ブロックが使用できない箇所もありました。





## 【研修成果】

- ・ 世界経済を牽引している中国，その中国の中でトップを走る上海を訪れたことにより，日本・鹿児島においては感じることができない，驚異的なスピードで経済成長していることを実感することができたのは，とても貴重な体験になった。



- ・ 研修の目的の1つであった，中国語を使って現地の方とコミュニケーションをとる，ということに関しては，積極的にコミュニケーションをとることができた。

特に2日目の意見交換会では，同じテーブルの現地企業人の方と会社の話から世間話まで中国語を使ってできた。

- ・ 良い点・改善が必要な点とそれぞれあるが，グローバルな視野を持ち，お互いの国についての理解を深めることは非常に大切なことだと学んだ。
- ・ 実際に訪問することで，自分が中国に対して思っていた勝手な価値観や固定概念を変えることができ，実際に自分の目で確かめたり，体験したりすることの大切さや自分から行動して知識を得ることの大切さを学んだ。

## 【研修成果の今後への反映】

- ・ 今回，同行したメンバーと様々な景色や文化，企業などを見ることができて，それぞれ感じることや視点の違いを感じたことも自分にとって，とてもよい刺激となった。現地人との交流会にて，現地の方に鹿児島のPRをしましたが，この上海研修で学んだことを各自が自身の成長や会社の成長に繋げ，鹿児島の発展に繋げていけたらと思う。



- ・ 中国文化風習に触れて，日本で当たり前としてきたサービス，心配りは，海外からしたら新鮮であり，真心がこもっていることを改めて感じられるようになり，日本の長所（強み）を自覚することができたので，今後の鹿児島のPRや活性化にも貢献していきたい。

- ・ 本研修を通じて，異文化理解の重要性を感じた。今後鹿児島に留学生として，観光客として，ビジネスマンとして訪れる外国人はより一層増えるだろう。その中で，少なからず言語や文化の壁にぶち当たる人々がいる。彼らのサポートができるよう，今後大学で現在の私に足りない要素を学び，身につけ，活用することで地域に貢献したい。

## 台北コース

### 【集団研修（講義）】

#### 1 講師

台湾WTJ 勅使河原 達也 氏  
(元 株式会社熊谷組)

#### 2 講演テーマ

「台北101」の建設や台北ビジネスについて

#### 3 概要

「台北101」を建設した株式会社熊谷組の元スタッフによる「台北101」を見学しながらの説明

#### 4 参加者の感想

- ・ 人々の命や財産を守る為の高度な技術が目の前にあり、とても感動した。
- ・ 台湾の人々は物事に対し白黒はっきりするのではなくグレーをよしとする文化があるとのお話から、はっきりと物事を伝えずオブラートに包む習慣のある日本人に酷似していて共感を覚えた。
- ・ ただ高いのではなく運気を受け止めるデザイン、お金のマーク、耳かき（にょい棒）をシンボルにしているところも斬新で台湾ならではの風習を感じた。



### 【集団研修（講義）】

#### 1 概要

現地企業人との意見交換、鹿児島をPRするプレゼンテーション

#### 2 参加者の感想

- ・ 日本ではまだ政治に関心を持つ若者が少ない中、有権者としての意識の高さと自分たちの国をより良くする為に政治への参加は不可欠であることを改めて教えていただいた。
- ・ 各グループ趣向を凝らしたプレゼンを行っており、非常に勉強になった。プレゼン終了後は、現地の方から、プレゼン内容についての質問なども受け、少しでも鹿児島に興味をもってもらうことができたのではないと思う。



- ・ 現地企業人との交流会を行い、台湾の方々は言語・コミュニケーション能力に長けており、常にアジアを視野に入れていることを感じた。
- ・ 台湾では働いている女性が多く、女性が料理をすべきという考えはあまり強くないため、外食の機会が多いということだが、日本も女性の社会進出が増しており、これからそういう流れになるのではと感じた。

## 【個別研修】

### 1 概要

5～6人のグループでの企業視察等

### 2 参加者の感想

#### ○ 黒丸嫩仙草観光工場

- ・ タロイモ団子は、初めて経験する香り，食感，味で不思議な感覚だった。台湾独自の食文化に触れた良い経験だった。
- ・ 仙草には、昔に村で病気が流行ったときに困った村長が仙人に会い，その際に仙草を食べたという話があった。日本にもある昔話と一緒にであると感じた。
- ・ 工場には，国外の人にも対応できるように英語・日本語が話せるスタッフがおり，また小さな子どものためにビデオ説明にはクイズが盛り込まれていて，誰でも楽しめるように工夫がされていると感じた。
- ・ 工場内は小学校を思い出させる机を椅子が置いてあり，スクリーンにて仙草の歴史を学び台湾にとって大切な存在であることが分かった。



#### ○ 手信坊創意和菓子文化館

- ・ 試食できるお菓子の種類が心なしか日本のお土産屋さんよりも多い気がした。試食をすることで，お客さんはそのお菓子がどのようなものか理解するため，商品を買いやすくなるのではないかと感じた。
- ・ 工場の創業者が日本へ留学経験があることから，日本風景を彷彿とさせる外装になっており，台湾が親日国家であることを強く認識できた。

#### ○黒丸嫩仙草観光工場

台湾デザートが楽しめる人気店「黒丸嫩仙草」の観光工場。

#### ○手信坊創意和菓子文化館

2011年台北市で行われたパイナップルケーキ達人コンテストで金賞を受賞した新北市にある，人気のお菓子ブランド。



## ○ ATOP 王鼎時間科藝體驗館

- ・ 作業場を見学したが、古い機械もきれいに整備されており、整理整頓・作業エリアの分けなどもしっかりなされていることから人が作業しやすい環境であるように感じた。
- ・ 「前に進むと他企業と競争になるため、あえて一歩下がってノスタルジックな（古い）物を作ることで、新しい物を生み出す」という言葉に、物事を多角的に考える事の大切さや、自社ブランドや技術が世界的にも一番であることに、強く誇りを持っていることが伝わってきた。

## ○ 郭元益食品メーカー

- ・ 自分が作ったケーキを区別できるよう、それぞれのマークを作っていた。隣の韓国や台湾の子どもたちのマークを見て、それだけでも考えが違い、国際感が溢れていた。
- ・ 日本人だけでなく、台湾・アメリカ・中国と様々な国の方と共に作業を行うという時間も体験することができた。共に作業をすることでその国の個性が現れて同じ作業でも異なる点が見えておもしろいと感じた。



## ○ HIS 台北支店

- ・ 同じ三普の日本支社と競合しているのが不思議な現象だった。自分も営業職なので競合がいるのは普通だが、同じグループ内で競合するというのは珍しいことなのではないかと思う。
- ・ 日本（鹿児島）企業ではまだまだ男性社員が半数以上を占めている感じだが、HIS台湾は全体の7割が女性であることにビックリした。日本でも徐々に女性の活躍は見られるようになったが、海外を見るとまだまだ女性の活躍が必要かと感じた。

### ○ATOP 王鼎時間科藝體驗館

五感で時間を感じることでできる施設で、時計のDIY体験を行っている。

### ○郭元益食品メーカー

台湾のお土産で定番のパイナップルケーキなどを販売する台湾で最も有名なお菓子メーカーである。

### ○HIS 台北支店

HISの台北支店であり、日本から旅行者向けサービス、台北からの旅行者サービスを展開している。日本語が話せるスタッフが多い。

## 【個人研修】

### 1 概要

参加者個人が各自で設定したテーマに基づき実施する研修

### 2 研修内容

①

業 種：中小企業支援

テーマ：県内小規模事業者に対する海外展開支援ノウハウの確立・関係機関等との人脈の構築

場 所：鹿児島銀行台北駐在員事務所

〈参加者の研修レポートから抜粋〉

#### (1) 県内小規模事業者に対する海外支援ノウハウの確立

4日間の研修を通して、現地の企業人や企業支援を行う人の生の声を聞くことができた。特に個人研修においては、以下にまとめた通り、台湾の経済状況や中小企業が海外展開・進出に取り組む際の課題等について理解を深めることができた。

##### ✚ 台湾展開における留意点・課題等（鹿児島銀行）

- ・台湾へモノを輸出する際は、製造ロットの大きさが求められる。
- ・親日で知られる台湾であるが、急速な経済成長に伴い台湾人の審美眼も鋭くなっており「メイドインジャパンなら何でもOK」という時代は終わったということを念頭に置いて取引を行う必要がある。
- ・台湾と貿易している取引先企業は50社以上で、今後も増加する見込みであるが、海外進出をしている企業はほとんどない状況である。現地にいて初めて得られる情報もあることや、レンタルオフィスなども多くあり意外と手軽ということから、駐在員事務所を作って情報収集してみるのも有効である。
- ・現地の物産展等に参加する場合も、一度や二度参加した程度では受け入れられない。ある程度根を張ってやっっていく覚悟が必要である。

##### ✚ 台湾経済の状況・台湾展開における留意点等（インベスト台湾）

- ・今年7月1日に施行された「三大投資方案」の一つ「中小企業加速投資行動方案」は国内中小企業の競争力強化を目的とした施策である。中小企業者が融資による資金調達をする際、5年間利息を1.5%補助する措置が取られている。
- ・最近では、米中問題を受け、中国進出していた台湾企業が次々と台湾へ撤退しており、このような企業への優遇措置もある。現在157社もの企業が補助を受けており、今後も増えていく可能性がある。
- ・メイドインジャパンのものは台湾で人気があり、特に食品への関心が高い。洪氏の所感だと、味噌が注目されているようである。食品だけでなく医療技術やバイオテクノロジーなど、日本の良いところをもっと国外に展開していくことが求められる。
- ・当センターではGDP成長寄与度の高い企業に対するサービスを中心に行っているが、海外の中小企業者向けに支援業務を行っている部署もあるため、気軽に相談してほしい。



②

業種：装花，花の販売

テーマ：台北にどのように花が根付いていて社会にどのように寄与しているのか

場所：台北フローリスト訪問，台北花市場

〈参加者の研修レポートから抜粋〉

台北花市場

台北の花市場午前3：00から午後12：00まで開いており一般のお客も購入することができる。日本では8月9月頃にお店に並んでいた花も多く、何より蘭系の花は生花の会場とは別会場に多く並んでいたことに驚いた。台湾といえば『蘭の花』らしく種類と数が圧倒的に多かった。



③

業種：建築

テーマ：台北の建築について

場所：新北投車站，台北市立図書館北投分館，北投温泉博物館

〈参加者の研修レポートから抜粋〉

個人研修① 新北投車站

新北投車站は、日本統治時代に利用されていた木造駅舎を復元した歴史的建造物です。新北投線の駅として1916年に開業、1988年に廃線となり、駅舎は解体されて彰化県の台湾民俗村に移されました。しかし2003年頃、文化財保存の意識が高まり、2016年に駅舎の再建工事を開始、2017年に工事が完了いたしました。



外観は、屋根の上にある窓が特徴的で、デザインとしてだけでなく、採光の役割も果たしていました。また軒の部分には、お花の透かし彫りが施されており、美しいものでした。



## 【研修成果】

- ・ 中学・高校で英語を学んだが、実用的に使うにはほど遠いレベルしか身につけていないが、現地の方々は日本へ年に数回旅行で訪ねてくることもあり、日常会話を十分に行える日本語を習得しており、海外を視野に入れた意識の違いを痛感させられた。
- ・ 鹿児島には、魅力的な観光資源がたくさんある中で、その魅力発信を十分にできているのだろうかと感じた。まだまだ鹿児島の良いところを県内外に発信していく必要があるのではないかと思った。
- ・ 知らない土地でも自分の力で交通機関などを使い無事に研修ができたのは、すごい経験になったし自信にも繋がった。
- ・ 個人研修では初めての地で事前アポイントから企業訪問まで自分自身で計画を立てて進めるなど、通常の業務ではなかなか体験することができないことを体験でき、海外を目や耳など五感で感じることもできた。これは本当に貴重な体験であった。
- ・ 急速に変化している社会の中で、取り残されず新しいものを生み出すためには、新しいものを吸収していく力と自ら選択し生かしていく力が求められると感じた。



## 【研修成果の今後への反映】

- ・ 今回最も大事にしようとしたことが、鹿児島の企業の方々との交流であった。今後も異業種であるが、交流を続け、助け合い協力しあえる繋がりを大切にしていきたい。そして、台北で見学した商業施設等を参考に、今後の売り場作りやモデルを控える売り場へ様々な提案をしていきたい。
- ・ 台北という全く環境の異なる国、場所で生活をし、異なる業種の方々との交流や同じテーマを持って共に研修をした経験は、今後、自身の意見を持ちながら、相手と一緒に考えてやり遂げることへの自身に繋がると考える。今後は、介護のことは介護の業種だけで考えるのではなく、異なる業種、異なる国、場所のことも学びつつ、広い見聞をもって仕事に携わることが大切であると考える。
- ・ 今までインバウンドのお客様に対して、普通の接客で満足していたが、今回の研修で他国の良さを感じたことで、これからは自らも地元「鹿児島」の良さを観光客に伝える思考を持ったサービスや取り組みを行っていく。
- ・ 今回の研修だけで、情報、知識、経験の習得と終わらせるのではなく、今後展開を想定しているアジア地域でのそれぞれのニーズ、食文化などの情報収集、またそれに沿った商品開発を明確な経験、知識を基に行うことで、今回の研修を有効活用していきたいと考える。





## 研修成果(所属企業・団体からの意見)

- 海外に行くこと自体は珍しいことではないかもしれないが、同世代の異業種の方々と、テーマを設定して視察をし、意見交換ができたことは「観る」だけでなく「考える」視点が増えることとなり、得難い研修体験になったと考える。話に聞くだけでなく、現地・現場・現物を見ることの重要性を実感できたことは、平生の仕事に臨む姿勢に良い影響をもたらすのではないかな。



- 具体的な課題や目標を持って今回の研修に臨み、実際には、計画どおりに行かないこともあったようであるが、その中でも工夫して研鑽を積めたようである。また、勤務する館内で起きた出来事と研修内で気づいた国の文化や習慣の違いを結びつけるなど、海外からの観光客やその文化を学ぼうという意識の高まりも感じられる。今回の研修で得たことを自分自身のことだけでなく、周りのメンバーにも広く知ってもらいたい。館での仕事に生かしてもらいたい。

- 一緒に研修に参加した異なる業種の様々な人々、また、現地で働き、生活をしている人々と交流をもつことで、視野も広がり、今まではなかった新たな視点で物事を考えられるようになったと思う。また、鹿児島を紹介するプレゼンテーションなどは、普段の業務の中ではあまり経験することがなく、情報を発信するスキルの向上につながったのではないかな。
- 「当たり前なのが、当たり前でない」、「物事は考え次第で見方が大きく変わる」。レポートの中にあった文章で、今回の研修がいかに素晴らしい体験であったかが覗える。多様性社会を創造してゆかなければいけない世代にとって、自分と異なる環境、異なる考え方の人と接し、話し、認め合うことは必要不可欠なことであると認識してもらえたのではないだろうか。

